

孫の手通信



第20号

平成24年1月28日

玉川孫一郎と歩む会

TEL/FAX: 0475(47)3014

<http://magoichiro.blog47.fc2.com/>

3年半を振り返って

一宮町長 玉川 孫一郎

早いもので、私が町長に就任してから3年半の歳月が過ぎました。今回は3年半を振り返り、町政の歩みを町民の皆さまに報告いたします。各項目の実現にあたってご協力いただいた町民の皆さまと尽力した職員に心から感謝いたします。残りの任期も、一宮町のために全力を尽くしてまいります。

行財政改革

- ・ 不要不急の工事や事業を見直し、財政調整基金を2億6219万1千円、庁舎建設基金を3億4419万5千円積み増しました。
- ・ 職員数の適正化を進めながらも最小の経費で最大のサービスを提供するため、16課26係を10課15グループに再編成し、組織のスリム化と弾力化を図りました。
- ・ 町長専用車黒塗りのクラウンを廃止するとともに、町長の給料を20%カットしました。
- ・ 長年の懸案であった「戸籍事務の電算化」を実現し、証明書発行時間を短縮しました。
- ・ 町内の防犯灯のうち3分の2を、省エネ型のLEDに交換しました。

情報公開

- ・ 分かりやすい予算説明書「町では今年こんな事をします」を作成し、全戸に配布しました。
- ・ 欲しい情報にいつでもアクセスできるように、町のホームページをリニューアルしました。
- ・ 町長交際費の使い道をホームページで公開しました。



分かりやすい予算説明書

町民参加のまちづくり

- ・ 町長室開放日(毎月第2木曜日)を設け、また町長懇談会や町政報告会を開催し、町民の声を直接お聞きしました。
- ・ 町が設置する委員会には、原則として公募委員を置き、町民の参加を進めました。
- ・ 公募委員31人と職員の協働により、町の新しい総合計画を策定しました。
- ・ まちづくり推進課を設置し、町民のまちづくり活動をサポートしました。
- ・ 町長の報酬カット分を住民団体によるまちづくり提案事業にあて、夢のある町づくりを推進しました。
- ・ 役場と自治会を結ぶ連絡制度「トマト便」を開始しました。



町長室開放日の様子

元気な子どもの声が聞こえる

まちづくり

- ・ 望ましいとされる14回の妊婦検診全てに対する助成を開始しました。
- ・ 子宮頸がん予防など3種類のワクチン接種についても助成を開始しました。
- ・ 在宅保育の親子が安心して遊べる子育て支援館「おおぞら」

を愛光保育園内に設置しました。

安心して働けながら子どもを育てられるよう時間外保育を延長し、新しく病児保育を開始しました。

・ 乳幼児の健康を守るために、町立3保育所の保育室にエアコンを完備しました。

・ 子ども医療費の助成を中学3年生まで延長しました。

・ 東浪見小学校の校舎と体育館の耐震改修を行い、一宮中学校の体育館を建て替えました。今年度中に予定の一宮小学校の体育館の改修工事をもって、学校施設全ての耐震化が完了します。

・ 小学生の「子ども議会」や中学生の「町長と語る会」を開催して子どもたちと一宮のまちづくりについて語り合い、子どもたちの要望の一部は実現されました。

若者が集う元気なまちづくり

・ サーフインの振興と環境保全を目的に千葉県知事杯エコサーフカップを創設し毎年大会を開催しています。

・ 釣ヶ崎海岸に自然環境に配慮したエコトイレと駐車場を備えたお祭りとお祭りの広場を整備しています(3月末までに完成予定)。

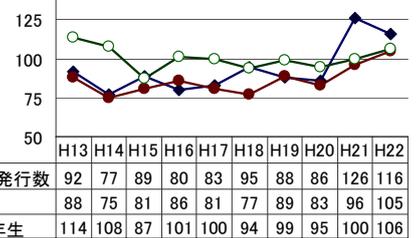
・ 国民宿舎一宮荘跡地にはトイレと駐車場を整備しています(こちらも3月末までに完成予定)。

・ 一連の町政120周年記念事業を実施し、地域の活性化と町民の交流を進めました。

・ 伝統の灯笼流しを20年ぶりに復活させました。



完成間近の釣ヶ崎海岸広場

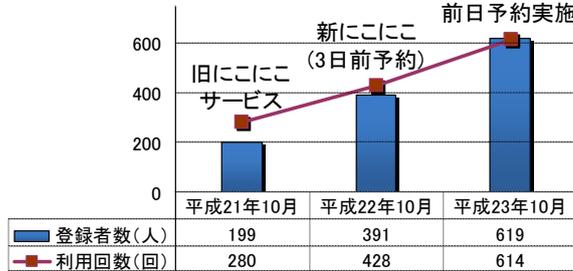


母子手帳発行数・出生数・小学1年生の推移

一宮町のPRを展開しています。
 ・新聞、テレビなどマスコミを積極的に活用し、全国に一宮町の話題を発信しています。
 ・施設園芸農家を支援するため、園芸施設リフォーム事業を実施しました。
 ・臨時交付金を活用して、用排水路やため池などの農業施設を改修しました。
 ・地域経済の活性化と快適な住環境をつくるため住宅リフォーム補助事業を実施しました。

お年寄りが安心してすごせる まぢづくり

・お年寄りの外出支援事業として、22年10月から身体障害者と65歳以上の方ならどなたでも自宅から町内の目的地へ無料で送り迎える「新にこにこサービス」を開始しました。昨年10月からは1日前予約を可能にして、一層利用しやすく改善しました。
 ・身体障害者、お年寄り、幼い子ども連れの家族が上総一ノ宮駅を安心して利用できるよう昨年12月27日にスロープとエレベーターを設置しました。併せて車椅子でも利用できる多機能トイレを整備しています（3月末までに完成予定）。
 ・高齢者の安全安心見守り事業を開始しました。
 ・長生病院の充実を図るため、長生郡市7市町村で負担金を増やして医師と看護師を確保し、夜間救急の空白日解消しました。
 ・国民健康保険税については、21年度は資産割の一部引き下げを行い、一世帯あたり約6千円減額しました。22年度は資産割を全廃し、一世帯あたり約2万1千円の減額を行いました。さらに昨年度は世帯平等割の一部廃止し、一世帯あたり約1万8千円の減額を行い、3年連続して引き下げを行いました。



にこにこサービス登録者数・利用回数の推移

〇〇 町内の方からひとこと 〇〇

バリアフリーのまぢづくりについて

一宮町バリアフリー協議会 可世木 博親

毎日歩いて外出し、オシャレすることは、高齢者の長寿の秘訣です。しかし、一宮駅を中心とする1km四方のエリア内には、公共施設を始め金融機関、医療機関、学校、郵便局、商店、玉前神社等集中しているにもかかわらず、高齢者や身体障害者が安心して移動できる状況ではありません。そこでこの地区を「バリアフリー重点整備地区」と決め、町とバリアフリー協議会のメンバー・高齢者・障害者・その他が実地調査と協議を重ね、まずは一宮駅のバリアフリー化として以下を要望しました。

- ① 駅舎へ入る段差をスロープにする事。
- ② 身体障害者が利用しやすいトイレの設置。
- ③ 1・2番ホームへの移動のためのエレベーターの設置。

駅前段差のスロープ、ホームのエレベーター、障害者用トイレについて、協議会がスタートして4年目にしてこれらが設置され(障害者用トイレは3月末完成予定、高齢者の方も身体障害者の方もこれからは、東京でも茂原でも安心して出かけられるのではないかととても嬉しい限りです。多くの皆様の努力の賜物です。
 今後は、道路や公共施設の一層のバリアフリー化について進めて頂きたいと考えております。

上総一ノ宮駅エレベーター完成記念式典

日時 1月30日(月) 午前10時より
 会場 JR上総一ノ宮駅東口広場にて

テープカット、保育所児童によるお祝いの歌のほか、婦人会のご協力により豚汁が振る舞われます。

自然環境を大切に するまぢづくり

・一宮川と農地を守るために、浄化槽の実態調査を県内で初めて実施しました。
 ・一宮の川、海岸、そして防風林を守るため、企業、団体、住民が参加する環境美化の取り組みを進め



一宮川の清掃作業

ています。
 ・「一宮の魅力ある海岸作り会議」を開催し、海岸侵食対策を進めています。
 ・海岸侵食に悩む市町村と協力して、南九十九里海岸侵食対策協議会を組織し、国と県に海岸侵食対策事業の促進を要望しています。

災害に強いまぢづくり

- ・一時避難所の見直し、海拔表示ポスターの掲示、緊急津波避難マップの配布、防災情報メールの配信、防災無線戸別受信機の増設、災害弱者援護台帳の作成、さらに放射能、防災、地震に関する各種講演会の開催、全町避難訓練などの緊急対策を実施しました。
- ・宮原地区自主防災組織の育成を支援しました。
- ・一時避難所と防災センターの役割を果たす新庁舎の建設計画を進めています。
- ・津波に強い防災林の整備を国、県に強く働きかけています。

東浪見土地区画整理事業 解決へ

多額の負債を抱える東浪見土地区画整理事業の早期解決を図るため、一宮町は22年10月に公共施設管理者負担金を組合へ支出し、組合は昨年12月に金融機関へ負債を完済しました。
 これによって東浪見土地区画整理事業が破綻することはなくなり、完全解決に向けて大きく前進しました。今後は町の発展に大きく寄与することが期待されます。



東浪見土地区画整理地区



全町避難訓練 (昨年11月28日)